

みんなで楽しくまちづくり

近畿大学総合社会学部教授 久 隆浩

1 地域活動の見直し

活動は増えてくるが、担い手は増えない

地域活動について、発想ややり方の転換が必要

活動：行事型→課題解決型

運営：階層組織型→ネットワーク型

従来：決まった活動をどのように行うか + 新たな活動 → たいへん

活動の棚卸し+体力の見極め → 真に必要な活動が見えてくる、どれくらいの規模が可能か

八尾市・山本小学校区まちづくり協議会 『わがまち推進計画』

- 1) 地域の特徴・課題を出し合い共有する
- 2) 課題解決のための方策を考える
- 3) 既往の活動を当てはめる
- 4) 足りない部分を補強し、重複する部分を整理する

課題を出し合い共有する → 課題解決型の活動

活動の体系化が図れる → 活動どうしの関係が見える

何が必要か → 誰が担うか・資金をどうするか

組織・資金・規模から活動を考えない

自治協議会：話し合う場をつくる、組織をつなぐ

自治協議会と他団体との関係

統合型：今までの団体を統合し、自治協議会に一本化 → 分野ごとに部会設置

補完型：今までの団体が担わなかった新たな活動を協議会が担う

支援型：他団体の活動を協議会が支援

2 階層組織とネットワーク

(地域活動への)若い人の参加が少ない ← 活動の仕方が違う

一方で、若い人びとの社会活動が活発化

組織離れ ≠ 活動離れ

	階層組織型	ネットワーク型
構成員の関係性	上下関係	水平関係
意思決定	上層部で決定	みんなで考える(意思決定がないときも)
活動形態	指示・命令で一丸となって動く	自発的に、できること／やりたいことを行う
	やらねばならないことを使命感で	やりたいことを楽しく
秩序形成	管理	自律
核となる人	リーダー	ファシリテーター
即効性・持続性	即効性:高 持続性:低	即効性:低 持続性:高

ネットワーク：責任の所在があいまいに、管理が苦手 → 自律

ファシリテーター = みんなをその気にさせる人

リーダー：引っ張っていく、仕切る、指示する

ファシリテーター：気づきを促す、みんなが動ける環境やきっかけをつくる

すぐに動かないといけない活動、多くの人でしっかりと担わなければならない活動：階層組織型
長続きさせたい活動、とりあえずやってみる活動：ネットワーク型

3 ネットワーク型の活動展開

やりたい人にやりたいことを任せる

世話役は舞台や機会づくりを → みんなが活動を担う

八尾・山本小学校区まちづくり協議会 太陽の広場ふれあいまつり
堺市南区・新檜尾台連合自治会の活動展開／実行委員会方式
三田市・ゆりのき台地域活動協議会／事業提案の募集

まずは公募してみる → 手が上がらない部分を役員が担う

呼びかける「場」の設置：この指止まれ方式 ← 組織動員方式

まちづくり井戸端会議

会議の方法を、ホワイトボードミーティングやワークショップにしてみる → ネットワーク型・参加型に

『町内会は義務ですか』

『PTA、やらないきゃダメですか』

働きアリの法則

よく働くアリ：ふつうに働くアリ：あまり働かないアリ = 2:6:2

集団1/5の法則

- 1) 自発的に動く
- 2) 動いている人に触発されて動く
- 3) 命令されて動く
- 4) 命令されても動かない
- 5) やる気のある人の足を引張る

Etienne Wenger他 『コミュニティ・オブ・プラクティス ―ナレッジ社会の新たな知識形態の実践』

コア・グループ 10～15%

アクティブ・グループ 15～20%

周辺グループ

楽しい・やりがい → 長続き

共感 ↔ アメ・ムチ

社会の動かし方が変わる: SNS、ボランティア活動、リノベーションまちづくり、社会起業家…

権力・カネ・組織で社会を動かす → 共感・ネットワークで社会を動かす

できるときに、できる人が、できることを / 無理なく、楽しく

宝塚市『まちづくり協議会ガイドライン』 <https://takarazuka-community.jp/about/>

①参加したいと思った時、参加の意思表示ができる方法がありますか?

②会議の場づくりを心がけ、それぞれの立場や違いを認め、誰もが活発に発言できる気持ちの良い話し合いができていますか?

三田市・高平郷づくり協議会 里カフェ部会

自治会費を納めて、義務で活動する人 / やりたいことを自発的にやってくれる人

しんどい行事を休止・縮小する勇氣

《 講師プロフィール 》

久 隆浩 氏 （近畿大学 総合社会学部 教授）

1958年高知県生まれ、大阪育ち。近畿大学総合社会学部教授（環境・まちづくり系専攻）。都市計画審議会委員（豊中市、川西市、泉大津市、大和郡山市、生駒市、名張市、岬町）、景観まちづくり審議会委員（吹田市、摂津市）、豊中市まちづくりアドバイザーなど数多くの審議会委員、アドバイザーを務める。住民主体のまちづくり、景観づくりを支援。「都市・まちづくり学入門」（共著・学芸出版社）、「21世紀の都市像-地域を活かすまちづくり」（共著・古今書院）他、著書多数。